

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生
試験科目 /Exam Subject	社会学
実施日（試験日） /Exam Date	2024 年 9 月 7 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
「出題意図」 博士課程前期課程については大問 3 問とした。1 問目は、社会学や関連諸分野についての基礎知識があるかを確認するために、4 研究領域（現代社会、メディア社会、人間福祉、スポーツ社会）に関わる計 20 ほどの用語から 3 つを選択し、その説明を解答する形式とした。2 問目は、社会学的な事象に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができるかを確認するために、比較的汎用性の高いトピックについて 1 つ選択して論述する形式とした。3 問目は、日本語の文章を読解する能力を備えたうえで、自分の考えを日本語で明確に述べたり、文章で表現ができたりするのかを確認するために、社会学に関する 1000 字程度の基礎的な文章を手がかりに、1～2 題の問いに解答する形式とする。 「問 1 解答例（採点時の観点）」 問 1 は社会学および関連諸分野についての計 20 ほどの用語から 3 つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて解答例を示すと膨大な分量となるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。 社会学研究科 HP 上では学科試験についての参考文献を公開しているが、問 1 で出題される語句については主にこの参考文献から選択している。文献内には語句の説明が行われているが、それに沿うようなかたちで解答がなされているかどうかということが採点の基準となる。 なお、学科試験についての参考文献については以下の URL を参照のこと。 https://www.ritsumei.ac.jp/gss/admission/about/ 「問 2 解答例（採点時の観点）」 問 2 は 4 つの問題から 1 つを選択し、10 行以上で、自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。また、4 つの問題すべてについて採点時の観点を示すと膨大な分量となるため、ここでは、すべての問題に共通する採点の基準を示す。	

・問題を解明するために必要となる社会学（あるいは関連諸分野）の概念（あるいは観点）が提示されているか。

例：ソーシャルメディアの社会的影響を解明するために必要となる概念は何か？

→エコーチェンバー、フィルターバブル・・・

・提示した概念（あるいは観点）をもとに、問題内の社会現象が適切に分析されているか。

例：エコーチェンバーは社会にどのような影響を与えるのか？

→自分の関心に沿う情報が提示されやすくなることで、・・・。

「問3 解答例」

1. 下線部①「性別役割分業に基づく社会化されないケア労働の問題」とは、どのようなものか。また、筆者はその対策として何に目を向ける必要があると考えているのか。本文に即して150字程度で説明しなさい。

「ケアは女性が担うものとされ、長年家庭内で抱えられてきた。ケアを担う女性が不在の家庭では、男性がそれを担わざるを得ず、男性であってもケアと就労の両立は難しい状況にある等を「性別役割分業に基づく社会化されないケア労働の問題」としており、その問題を生み出している社会構造に目を向けることを必要としている。」(149字)

2. 下線部②「若者政策・支援事業が専門縦割化」しているとはどういうことか、また、それによって生じる問題とはどのようなことか。これらを踏まえて、筆者は何を主張しているのか。本文に即して250字程度で説明しなさい。

「「若者政策・支援事業が専門縦割化」しているとは、女性や障害・障害グレーゾーンの若者や困窮世帯に育った若者たち、10代の若者たち、LGBTQ+や外国人などのマイノリティの若者は事業対象として視野に入りにくく、一部の「若者」しかカバーしないセクショナリズムによる「若者支援」が進められてきたことを指す。これにより、声が届かない当事者や経験者が存在するという問題がある。これらを踏まえ、女性やマイノリティの若者の意見が置いていかれない丁寧な取組みの必要性や、当事者の安全が脅かされない安心して声が届けられる配慮・社会的取組みの重要性を主張している。」(275字)

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程 後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生・社会人
試験科目 /Exam Subject	社会学
実施日（試験日） /Exam Date	2024 年 9 月 7 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
「出題意図」 博士課程後期課程については大問 2 問とした。1 問目は、社会学や関連諸分野についての基礎知識があるかを確認するために、4 研究領域（現代社会、メディア社会、人間福祉、スポーツ社会）に関わる計 20 ほどの用語から 4 つを選択し、その説明を解答する形式とした。2 問目は、社会学的な事象に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができるかを確認するために、比較的汎用性の高いトピックについて 2 つ選択して論述する形式とした。 「問 1 解答例（採点時の観点）」 問 1 は社会学および関連諸分野についての計 20 ほどの用語から 4 つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて解答例を示すと膨大な分量となるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。 社会学研究科 HP 上では学科試験についての参考文献を公開しているが、問 1 で出題される語句については主にこの参考文献から選択している。文献内には語句の説明が行われているが、それに沿うようなかたちで解答がなされているかどうかということが採点の基準となる。 なお、学科試験についての参考文献については以下の URL を参照のこと。 https://www.ritsumei.ac.jp/gss/admission/about/ 「問 2 解答例（採点時の観点）」 問 2 は 4 つの問題から 2 つを選択し、10 行以上で、自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。また、4 つの問題すべてについて採点時の観点を示すと膨大な分量となるため、ここでは、すべての問題に共通する採点の基準を示す。	

・問題を解明するために必要となる社会学（あるいは関連諸分野）の概念（あるいは観点）が提示されているか。

例：ソーシャルメディアの社会的影響を解明するために必要となる概念は何か？

→エコーチェンバー、フィルターバブル・・・

・提示した概念（あるいは観点）をもとに、問題内の社会現象が適切に分析されているか。

例：エコーチェンバーは社会にどのような影響を与えるのか？

→自分の関心に沿う情報が提示されやすくなることで、・・・。

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程 後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	学内進学
試験科目 /Exam Subject	英語
実施日（試験日） /Exam Date	2024 年 9 月 7 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
「出題意図」 英語で文献を読む能力を持っているかを確認するために、英語で書かれた社会学あるいは近接領域のテキストなどから出題した。大問 2 問とし、1 問目は正確に英訳ができるかを確認するために一定程度の英文を和訳させるものとした。2 問目は全体の内容が理解できているかを把握できるような問いとした。なお、後期学内進学については、2 問目は問わず、大問 1 問目のみとした。 「問 1 解答例」 問 1 下線部①、②、③を和訳しなさい。 ①他方で、無批判だと人を批難することがある。彼らはあまりに賞賛するのに夢中で、物事の良い面だけでなく悪い面を見ることができない。 ②つまり、それは、性急に判断することを避け、自分が知っていることについて、したがって実際にどれだけ確信できるかについての主張には限界があることを認識することである。 ③そして、これらの主張が、口語と静止画や動画、音楽や音、劇的なパフォーマンスが組み合わされたオーディオビジュアルの（視聴覚的な）形式でなされた場合には、さらに複雑なものとなる可能性がある。	

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生
試験科目 /Exam Subject	社会学
実施日（試験日） /Exam Date	2025 年 2 月 1 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
「出題意図」 博士課程前期課程については大問 3 問とした。1 問目は、社会学や関連諸分野についての基礎知識があるかを確認するために、4 研究領域（現代社会、メディア社会、人間福祉、スポーツ社会）に関わる計 20 ほどの用語から 3 つを選択し、その説明を解答する形式とした。2 問目は、社会学的な事象に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができるかを確認するために、比較的汎用性の高いトピックについて 1 つ選択して論述する形式とした。3 問目は、日本語の文章を読解する能力を備えたうえで、自分の考えを日本語で明確に述べたり、文章で表現ができたりするのかを確認するために、社会学に関する 1000 字程度の基礎的な文章を手がかりに、1～2 題の問いに解答する形式とする。 「問 1 解答例（採点時の観点）」 問 1 は社会学および関連諸分野についての計 20 ほどの用語から 3 つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて解答例を示すと膨大な分量となるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。 社会学研究科 HP 上では学科試験についての参考文献を公開しているが、問 1 で出題される語句については主にこの参考文献から選択している。文献内には語句の説明が行われているが、それに沿うようなかたちで解答がなされているかどうかということが採点の基準となる。 なお、学科試験についての参考文献については以下の URL を参照のこと。 https://www.ritsumei.ac.jp/gss/admission/about/ 「問 2 解答例（採点時の観点）」 問 2 は 4 つの問題から 1 つを選択し、10 行以上で、自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。また、4 つの問題すべてについて採点時の観点を示すと膨大な分量となるため、ここでは、すべての問題に共通する採点の基準を示す。	

・問題を解明するために必要となる社会学（あるいは関連諸分野）の概念（あるいは観点）が提示されているか。

例：「個人と社会」の間の矛盾を解明するために必要となる概念は何か？

→方法論的個人主義と方法論的集合主義、社会的ジレンマ・・・・

・提示した概念（あるいは観点）をもとに、問題内の社会現象が適切に分析されているか。

例：社会的ジレンマの具体例は何か？それが生じるメカニズムと解決策は？

→社会的ジレンマの具体例としては・・・。社会的ジレンマという観点からみた場合、この現象は、・・・。そして、その解決策としては、・・・

「問3 解答例」

1. 下線部①「生まれ変わり」について、日本の学歴社会の特徴をうまく言い当てたと筆者は評するのはなぜか。本文に即して150字程度で説明しなさい。

「本質的に属性主義的である学歴主義の場合、「社会的出生」が「入試」によって決まり、一度決まってしまうと、後はそこで得られた地位が、生まれながらの階級のように維持され続けるといふ点からみて、入学試験に合格することを「生まれ変わり」と表現することによって、日本の学歴社会の特徴をうまく捉えているといえるから。」(151字)

2. 下線部②「学歴社会の否定的な側面を強調する議論」とはどのようなものか。「社会的出生」と関連づけながら、本文に即して250字程度で説明しなさい。

「生まれ変わり」と表現されるほどに、日本の入学試験が「劇的」な変化をもたらすものであり、だからこそ、教育に向けて大衆を動員し、その結果、受験競争を激化されることにより、学歴社会こそが受験教育の弊害を生み出す元凶であるとみる考え方や、学歴主義の支配する社会では、はげしい受験競争が日常化し、入学試験による「社会的出生」の結果獲得された学歴は『属性』となり『身分』となって、社会生活のすみずみにまで、支配的な力を及ぼすようになるといった議論。このような日本の学歴社会の特徴は、日本人研究者にも採用され、学歴社会のイメージをより強化した。(266字)

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程 後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生・社会人
試験科目 /Exam Subject	社会学
実施日（試験日） /Exam Date	2025 年 2 月 1 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
「出題意図」 博士課程後期課程については大問 2 問とした。1 問目は、社会学や関連諸分野についての基礎知識があるかを確認するために、4 研究領域（現代社会、メディア社会、人間福祉、スポーツ社会）に関わる計 20 ほどの用語から 4 つを選択し、その説明を解答する形式とした。2 問目は、社会学的な事象に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができるかを確認するために、比較的汎用性の高いトピックについて 2 つ選択して論述する形式とした。 「問 1 解答例（採点時の観点）」 問 1 は社会学および関連諸分野についての計 20 ほどの用語から 4 つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて解答例を示すと膨大な分量となるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。 社会学研究科 HP 上では学科試験についての参考文献を公開しているが、問 1 で出題される語句については主にこの参考文献から選択している。文献内には語句の説明が行われているが、それに沿うようなかたちで解答がなされているかどうかということが採点の基準となる。 なお、学科試験についての参考文献については以下の URL を参照のこと。 https://www.ritsumei.ac.jp/gss/admission/about/ 「問 2 解答例（採点時の観点）」 問 2 は 4 つの問題から 2 つを選択し、10 行以上で、自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。また、4 つの問題すべてについて採点時の観点を示すと膨大な分量となるため、ここでは、すべての問題に共通する採点の基準を示す。	

・問題を解明するために必要となる社会学（あるいは関連諸分野）の概念（あるいは観点）が提示されているか。

例：「個人と社会」の間の矛盾を解明するために必要となる概念は何か？

→方法論的個人主義と方法論的集合主義、社会的ジレンマ・・・

・提示した概念（あるいは観点）をもとに、問題内の社会現象が適切に分析されているか。

例：社会的ジレンマの具体例は何か？それが生じるメカニズムと解決策は？

→社会的ジレンマの具体例としては・・・。社会的ジレンマという観点からみた場合、この現象は、・・・・。そして、その解決策としては、・・・・

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程 後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	学内進学
試験科目 /Exam Subject	英語
実施日（試験日） /Exam Date	2025 年 2 月 1 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
「出題意図」 英語で文献を読む能力を持っているかを確認するために、英語で書かれた社会学あるいは近接領域のテキストなどから出題した。大問 2 問とし、1 問目は英語の構文理解力を確認するために一定程度の複雑さを持つ英文を和訳させるものとした。2 問目は全体の内容が理解できているかを把握できるような問いとした。なお、後期学内進学については、2 問目は問わず、大問 1 問目のみとした。 「問 1 解答例」 問 1 下線部①、②、③を和訳しなさい。 ①複雑な質問、ダブルバーレル質問はしないこと。通常、半分しか答えが得られないし、その半分がどちらなのかははっきりしないことも多い。不明瞭な答えを示す言い回しは避けること。例えば、「よく教会に行きましたか？」と尋ねるのではなく、「どのくらいの頻度で教会に行きましたか？」と尋ねる。 ②インタビューのどの段階においても、詳しく述べてもらうことが有用かもしれない赤裸々な事実が出てきたら、「それは面白いですね」とか、もしくはより直接的に、「どのように？」、「なぜそうしなかったんですか？」、「それは誰だったんですか？」というような、誘いかける言葉を投げかけることができる。 ③ステレオタイプ化された一般化や、当たり障りのない一般化の裏にある詳しい記憶を探ることは、インタビュー調査の基本的なスキルのひとつであり、またチャンスになる。	